

18歳成人 悪質商法から守れ

消費者委が法改正提言

内閣府消費者委員会が十日、成人年齢を十八歳に引き下げた後に高校生や大学生らが悪質商法の被害や契約トラブルに遭わないよう、消費者契約法を改正して保護規定を盛り込むことなどを提言する意見を取りまとめた。消費者庁はこれを踏まえ、保護策拡充や関係法令改正に向けた検討を本格化させる。

消費者委の意見は、主に十八・二十二歳を保護すべき「若年成人」と位置付けた。一方で法令改正には複数の団体から「過剰な規制になる」と反対する意見書が提出されたため、国民的

とを提言した。事業者が未熟さに付け込んで結ばせた契約を消費者が取り消せる規定も求めた。

同様に、連鎖販売取引(マルチ商法)などで未熟さに付け込んで契約を結ばせた事業者を、特定商取引法に基づき行政処分の対象に明確に位置付け、積極的に処分するよう促した。大学生らが被害に陥りやすい心理的な背景の調査研究や、若年者向けの教育、相談窓口の強化も求めた。

法務省は改正民法成立から施行までの周知期間を三年程度で検討しているが、消費者委は、十分な教育と保護策が実施されるまで「少なくとも五年に設定すべきだ」との意見が多かったとした。

「この世界の片隅に」1位

2016年 キネマ旬報ベストテン

日本映画	外国映画
1 この世界の片隅に	1 ハドソン川の奇跡
2 シン・ゴジラ	2 キャロル
3 淵に立つ	3 ブリッジ・オブ・スパイ
4 ディストラクション・ベイビーズ	4 トランボ ハリウッドに最も嫌われた男
5 永い言い訳	5 山河ノスタルジア
6 リップヴァン ウィンクルの花嫁	6 サウルの息子
7 湯を沸かすほどの熱い愛	7 スポットライト 世紀のスクープ
8 クリーピー 偽りの隣人	8 イレブン・ミニッツ
9 オーバー・フェンス	9 ブルックリン
10 怒り	10 ルーム

映画の一位はクリント・イーストウッド監督の「ハドソン川の奇跡」。

「この世界の片隅に」はこの年代の漫画が原作のアニメーション映画。第二次世界大戦中の広島県呉市を舞台に、十八歳で嫁ぎ、けなげに生きる女性の姿を描いた。各賞は次の通り(敬称略)。

▽監督賞 片渕須直▽脚本賞 庵野秀明▽主演女優賞 宮沢りえ▽主演男優賞 柳楽優弥▽助演女優賞 杉咲花▽助演男優賞 竹原ピストル▽新人女優賞 小松菜奈▽新人男優賞 村上虹郎▽外国映画監督賞 クリント・イースト

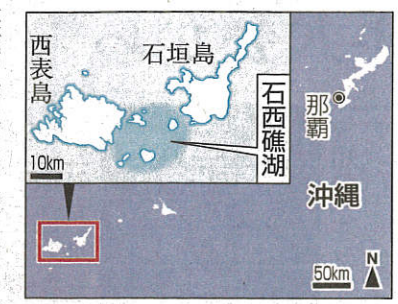
ウッド文化の桃源郷 北日 大雪 13日に 気象庁は 圧配置が 一日から 日本(北海 心に雪を 風が吹く 暴風雪 注意を呼 気象庁に かけて北

環境省は十日、沖縄県の石垣島と西表島の間に国内最大のサンゴ礁「石西礁湖」で起きた大規模な白化現象で70・1%のサンゴが死滅したとの最終調査結果を発表した。昨年九月の前回調査で白化が進んでいたサンゴの多くが死滅した。白化は、褐虫藻が抜け出し、サンゴの骨格が透けて白く見える現象。短期間なら元の状態に回復するが、長期間続くとサンゴは死んでしまう。

調査は昨年十一月二十八日、十二月二十一日に三十五地点で

死滅サンゴ 7割に

国内最大「石西礁湖」最終調査結果



実施。昨年は沖縄付近を通る台風が少なく、海水がかき混ぜられなかったことから海水温の高温状態が続き、サンゴの中に生息して栄養を補給している褐虫藻が失われたため、白化が進んでいた。前回調査では白化率97%、死滅56・7%だった。今回は海水温の低下に伴い、白化率は91・4%に下がった。

沖縄県の石垣島と西表島の間にある石西礁湖で白化、死滅したサンゴ=2016年11月(環境省石垣自然保護官事務所提供)

ネズミ撃退ネット 再販売 豊橋の業者

鳥インフル 媒介を阻止



鶏卵を運ぶベルトコンベヤーを覆う「ネズミ」=愛知県田原市のイラコファームで

ろ、侵入しようとしたネズミが逃げる様子が確認された。わさびやマスタードも練り込み、ネズミだけでなくハクビシンやタヌキ、イタチなどにも効果があるという。

鳥インフルエンザが猛威をふるう韓国では昨年十月から二千以上、国内では十二月から七百以上を既に売り上げた。感染拡大を受けて注文が相次ぎ、いったん販売を停止していた。

同県田原市のイラコファームでは、鶏舎と採卵場を

の民家の庭で三日に野鳥のオオバンが死骸が見つかり、遺伝子検査の結果、鳥インフルエンザの陽性反応が出たと発表した。今後、国の検査機関に指定されている鳥取大で確定検査を行う。確定まで一週間ほどかかる見通し。

県によると、死骸が見つかったのは琵琶湖から五キロ離れた市街地。県家畜保健衛生所が四日に行った簡易検査では陰性だったが、国立環境研究所(茨城県つくば市)の遺伝子検査でA型の鳥インフルエンザが検出され、十日午前、県に連絡があった。

今季はA型の一種で、致死性の高い高病原性の鳥インフルエンザH5N6型が全国的に流行している。オオバンは、北方からの渡り鳥。全国各地に飛来し、滋賀県内では冬季に推計で八万五千羽が生息。県と環境省は半径十キロ圏内を野鳥監視重点区域に指定し、鳥の異常死がないかなどの監視を強化する。

「ユーモアある明るい句も」

2月分選考会

本紙一面で毎日掲載している「平和の俳句」の二月掲載分の選考会が十日、東京都千代田区の東京新聞(中日新聞東京本社)であった。作家いとうせいこうさん(五十七)が、二百五十四通の中から掲載句を選んだ。俳人金子兜太さん(九七)は親族の不幸で欠席し、後日、選考する。

寄せられた作品には、新年にちなんで平和への思いを新たにする句も多かった。いとうさんは「ひょうひょうとしたユーモアを感じる句があり、年明けでもあり明るくて良いと思っ

た」と感想を語った。

二月に開く三月掲載分の選考会には、テレビ番組「NHK俳句」の司会を務めるエッセイストの岸本葉子さん(五七)が、ゲスト選者として参加する。

「平和の俳句」への投稿を募集しています。はがきの裏面に1句を記入。同じ面に住所、氏名(振仮名)、電話番号、年齢、職業を明記し、〒460 8511 中日新聞文化部「平和の俳句」係へ。投稿は未発表の自作の句に限り、季語のない句も受け付けます。ペンネーム不可。よろしければ背景にある体験、込めた思いなどをお書き添えください。

★紺野アナ元「モーニング」メンバーで野あさ美アナ写真、プロで「二出身」という届は元日に提出してきま告。テレビ当面仕事を待手 杉浦投手「家族スバ」ののためにきるよう日「す」とコメン

★題名は「上春樹さん」のタイトルが

野鳥死骸 陽性疑い 草津

滋賀県は十日、草津市内